

「エクスペリエンス・ジャパン」（アイルランド・ダブリン）に出展しました

1 エクスペリエンス・ジャパン概要

エクスペリエンス・ジャパンは、アイルランドの首都であるダブリンにおいて長年にわたり開催されている日本文化の発信イベントで、日本文化や訪日に関心を持つ方々が多数来場するイベントです。

今年度は、日本の音楽、舞踊、武道などのパフォーマンスが披露されたほか、俳句や着物の着付け、書道のワークショップなどが行われました。

イベント名	エクスペリエンス・ジャパン 2025
日 時	2025 年 4 月 27 日（日）
場 所	ダブリン市 ファームレイ・ハウス・アンド・エステート (Farmleigh House and Estate in Phoenix Park)
主 催 者	エクスペリエンス・ジャパン実行委員会
後 援	政府公共事業局、在アイルランド日本国大使館、Ireland Japan Association 等
ウェブサイト	http://experiencejapan.ie/



2 出展内容

イベント会場の入り口付近にブースを設置し、各自治体のパンフレットの配布やポスターの掲示などにより、地域の魅力のPRを行いました。また、地域の観光スポットやイベント、郷土料理のレシピ等の発信を行う事務所のSNSアカウントのPRを行い、フォローを働きかけました。

加えて、来場者とのコミュニケーションやアンケートの実施により、来場者の日本への関心事項や訪日経験等について調査を行いました。

イベント終盤は、日本文化の魅力をより多くの方に知ってもらうため、折り紙のワークショップを実施し、来場者と一緒に花や鶴といった作品をつくりました。

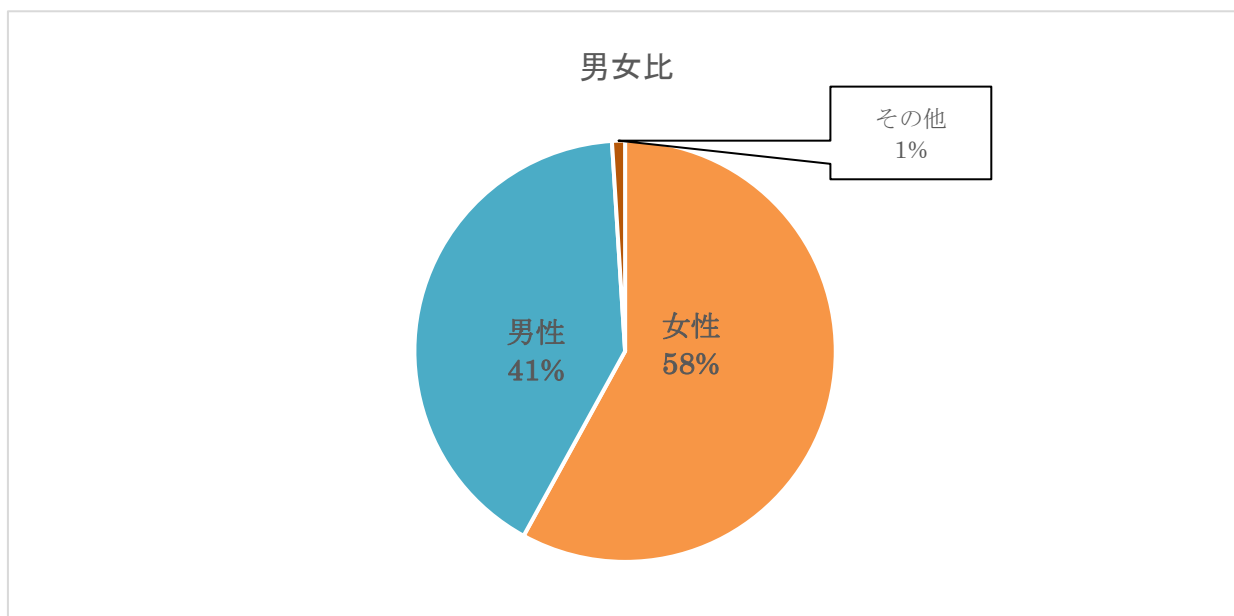
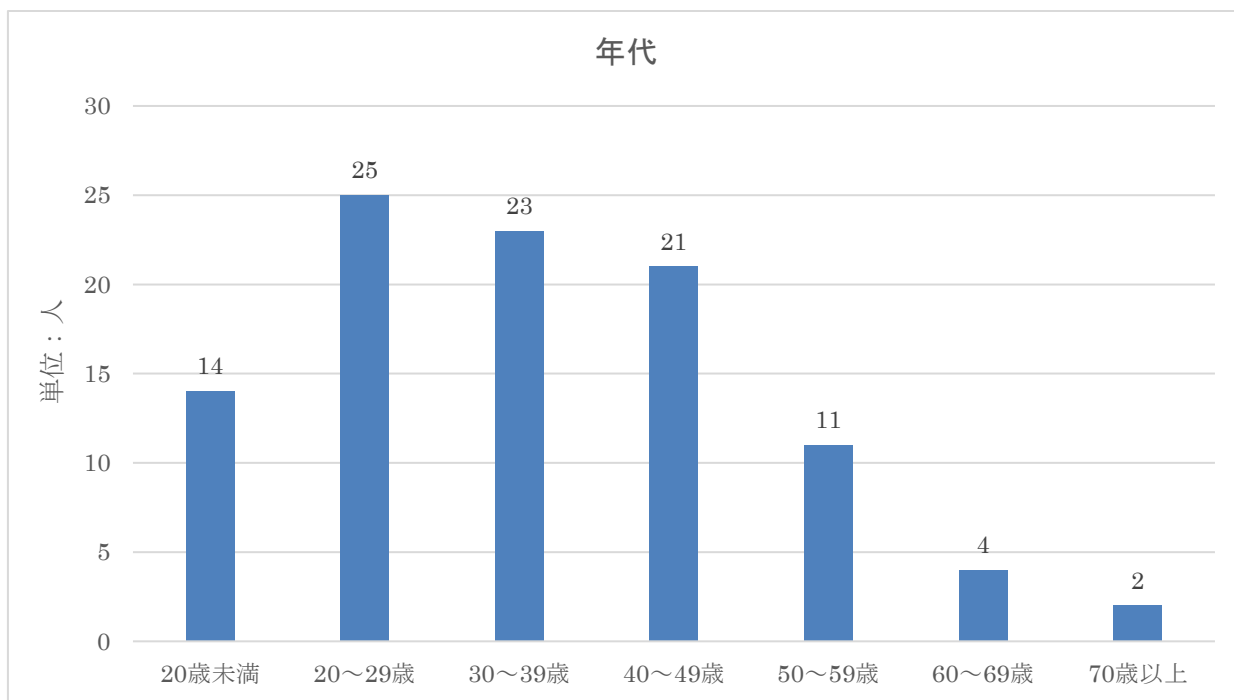


3 アンケート結果

来場者の方々に協力いただき、計 100 名にアンケート調査を行いました。質問項目およびアンケート結果については以下のとおりです。

(1) 回答者の年代および性別

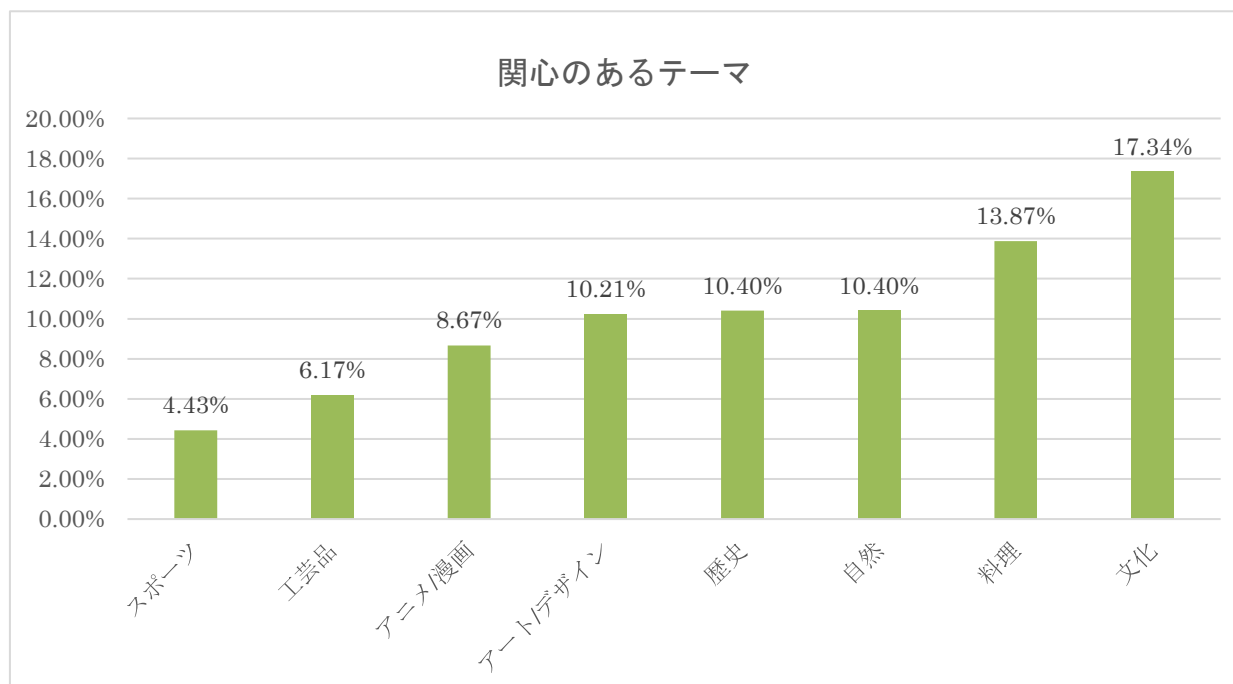
20～29 歳が最も多く、次いで 30～39 歳、40～49 歳が多いという結果になりました。また、回答者の性別については女性が過半数以上の 58%となりました。



(2) 関心事項

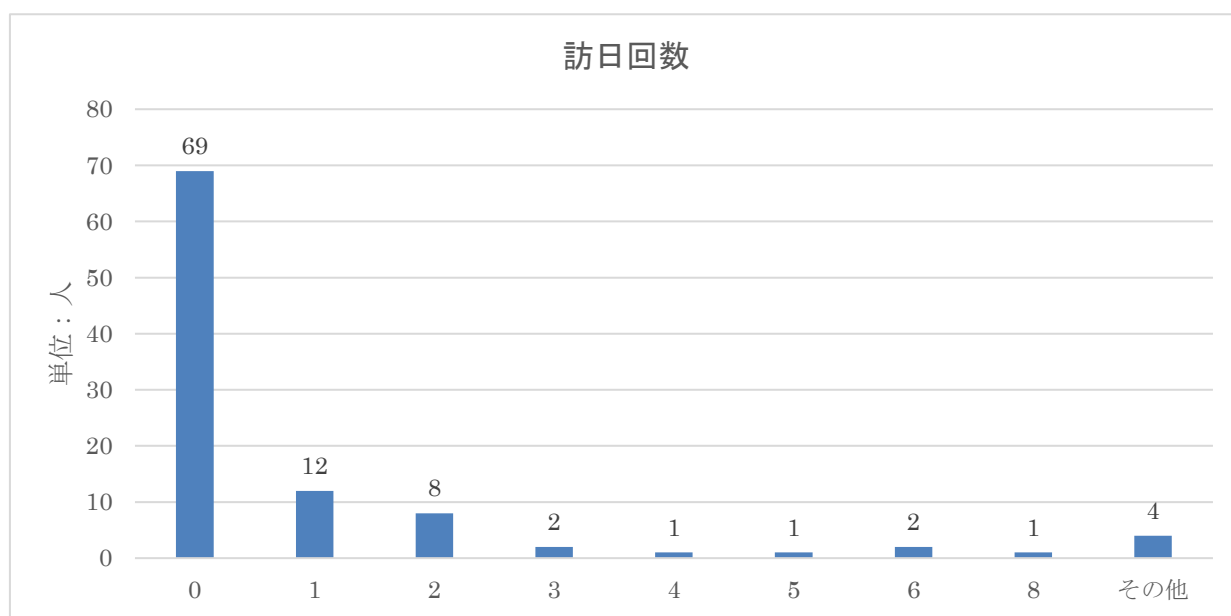
日本文化や料理、歴史や自然に関心を持つ方が特に多くみられました。昨年度出展したデンマークの「サクラフェスティバル」やドイツの「日本デー」、英国で行われた「Hyper Japan」や「ジャパン祭り」でも同様の結果が出ており、国による大きな関心内容の違いはないように

見受けられます。



(3) 訪日回数

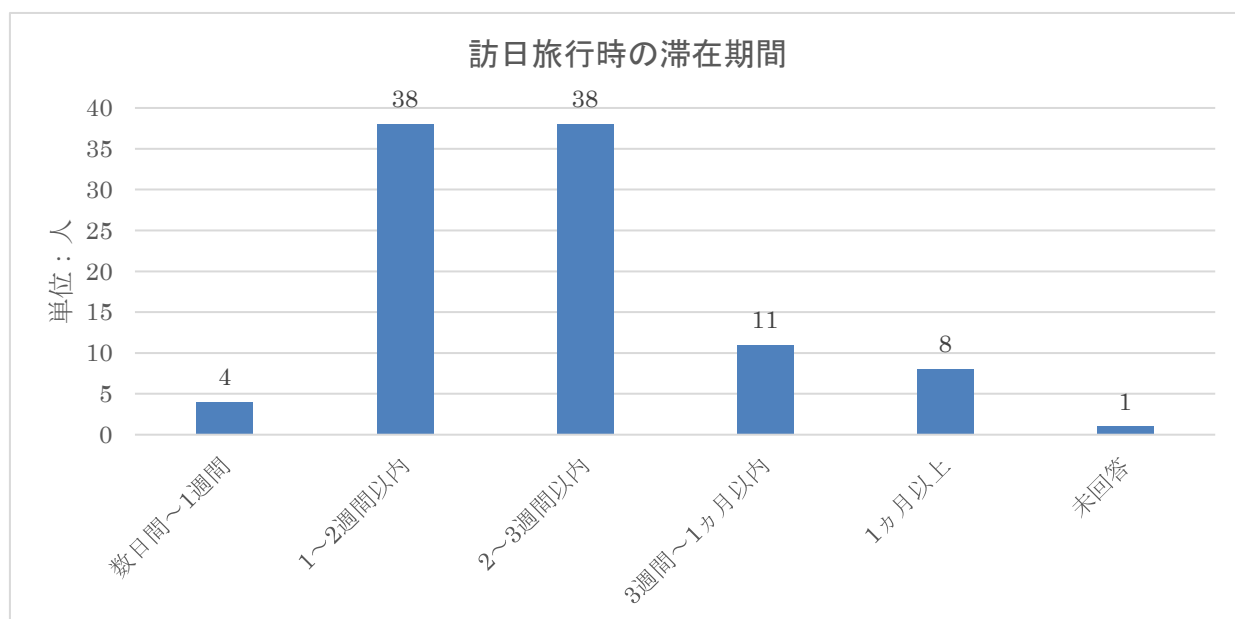
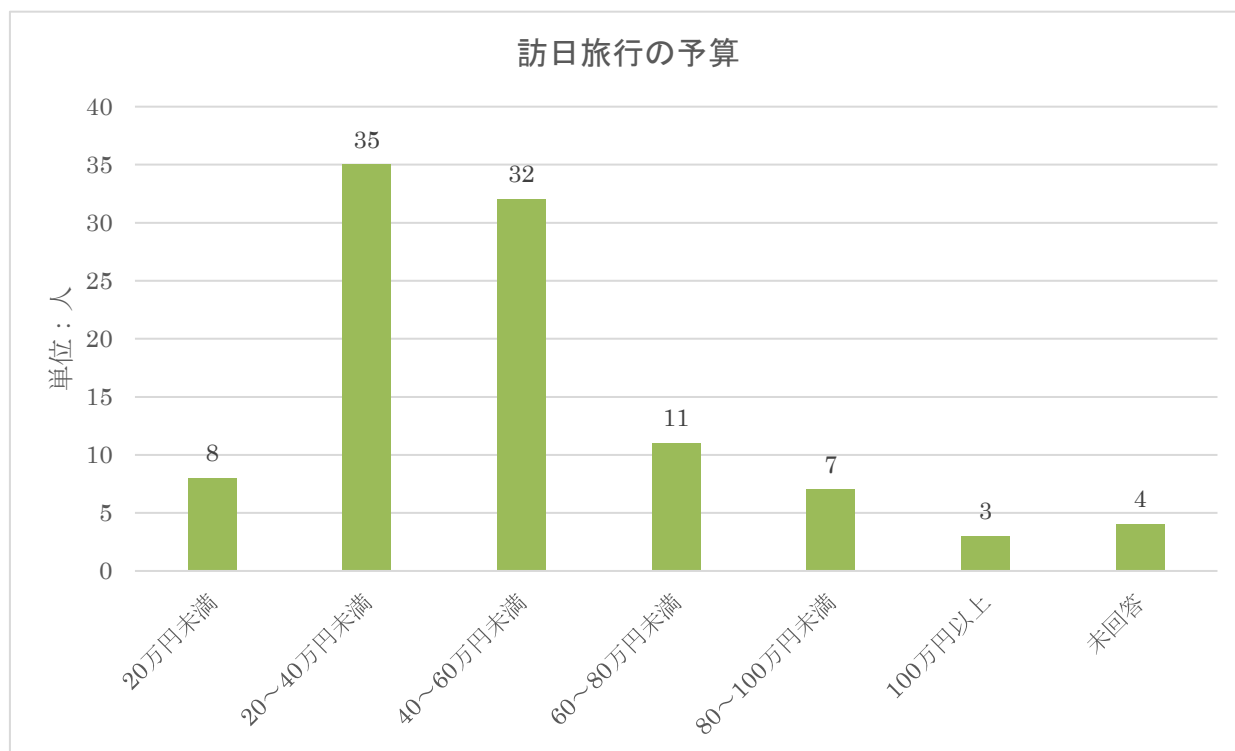
今回初めて設問を設けて訪日回数について質問したところ、訪日経験がない方が 69 人と、約 70%を占める結果となりました。一方で、5 回以上の訪日経験のある方や日本に住んだことのある方等が計 8 人と、日本に非常に強い興味関心等を寄せる方も見受けられました。



(4) 訪日旅行の予算および滞在期間

フライト代を除いた訪日旅行の予算について、20～40 万円未満が 35 人、40～60 万円未満が 32 人、60～80 万円未満が 11 人という結果となりました。また、滞在期間については 1～2 週間以内と 2～3 週間以内が同率の 38 人と最も割合が高く、次点で 3 週間～1 ヶ月以内が 11 人

となりました。

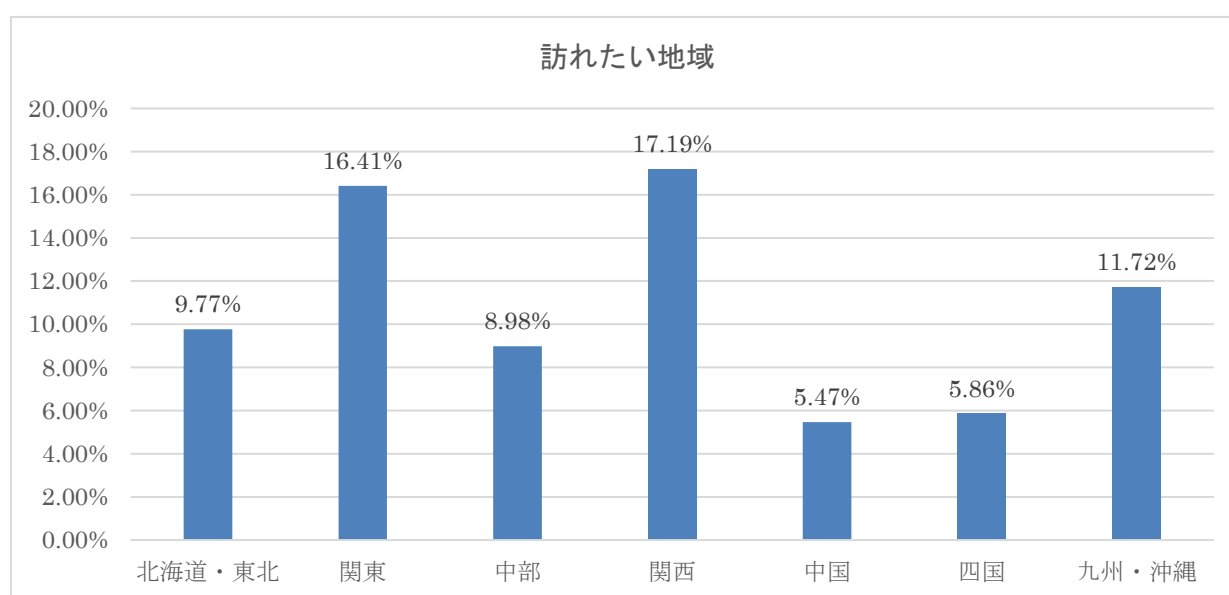
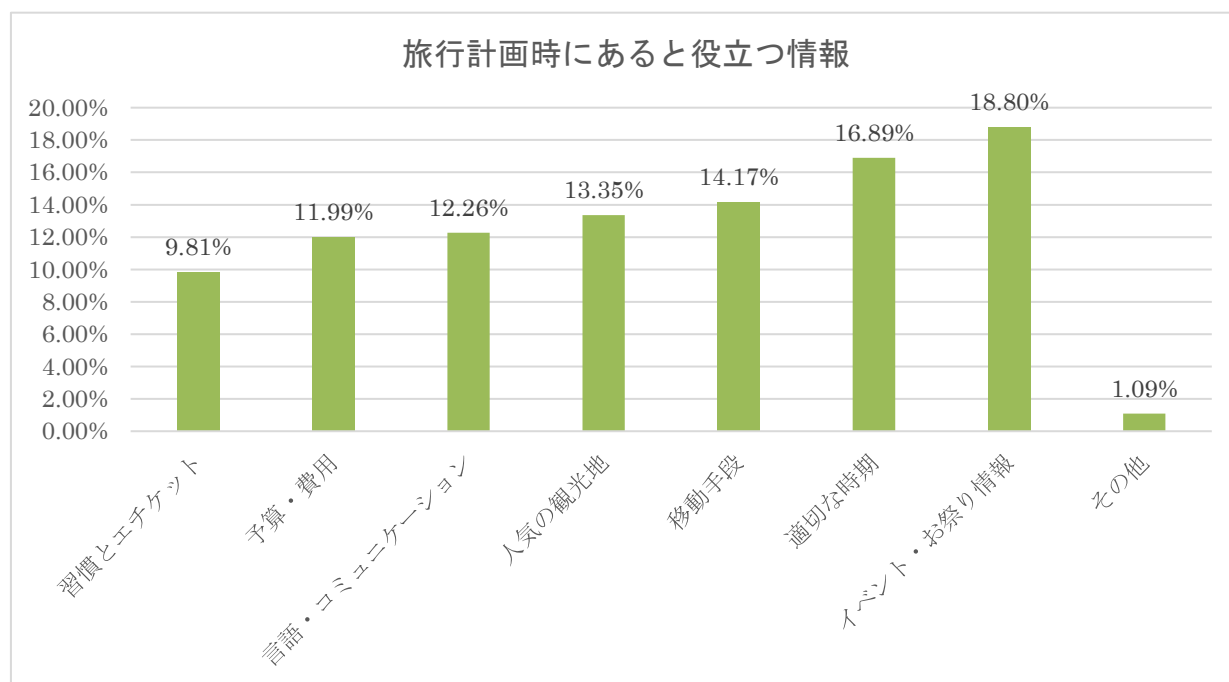


(5) 訪日計画時に欲しい情報および訪れたい地域

関連情報の発信に役立てようと、今年度初めて本項目について聞き取りを行いました。訪日旅行計画時にあると役立つ情報として、イベント・お祭りに関する情報をあげる方が18.8%、旅行に適切な時期が16.89%、移動手段が14.17%という結果となりました。記載のもの以外に、神社仏閣や地方のおすすめのアクティビティ・食べ物をあげる方もいました。

訪れたい地域については、関西が17.19%と関東の16.41%を上回り、次点で九州・沖縄が11.72%という結果になりました。訪日経験がない方が約70%を占めるため、地域の特色等をどこまで理解いただいているか明確でない部分もありますが、関西エリアへの訪問に高い関心を

持っている様子うかがえました。



4 来場者の反応・印象等

当事務所ブースの訪問者は、秋季までに訪日を予定している方が多く、「小さな子どもを連れて訪れるのによい場所を教えてほしい」、「混雑の少ないのんびりできる場所は」といったものをはじめ、下記のような質問を受けました。

< 来場者からいただいた質問（抜粋） >

- ・初めて日本に訪れるが、必ず訪れるべき場所は。
- ・以前、東京・京都・大阪等の王道の観光ルートを巡った。次は違うところに行ってみたいがおすすめの観光地は。

- ・ 日本を訪問するのにおすすめの季節は。
- ・ 非常に暑いと聞いたが、暑い中でも楽しめる訪問先は。
- ・ 桜の開花時期は。
- ・ 国内の便利な移動方法は。
- ・ 日本に関する情報について、こういったメディアが参考になるか。

ポスターやパンフレットをながめながら興味の惹かれる訪問先を探したり、職員に見どころや移動手段に関する質問をする等、来場者の方が積極的に情報収集をする様子が見られました。また、訪日経験のある方が旅行を計画している方におすすめの訪問先等のアドバイスを熱心に行うといった場面も見られました。

一方で、訪日に興味があるが何を足掛かりに計画を立てたらいいか全く分からないという声も複数聞かれ、日本に関する一般的かつ総合的な情報へのアクセスが容易ではないと感じる人が一定数いることが感じました。

このようなイベントの機会等を最大限に生かし、来場者のニーズに対応した情報発信のさらなる充実について検討してまいります。